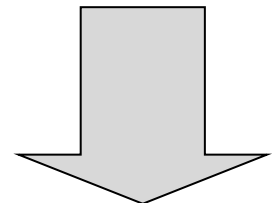


茨木市景観計画における行為地の位置付けの確認		景観要素のチェック	周辺景観の特徴・状況	計画・設計への反映
茨木市の景観形成の目標	周辺景観を構成する景観特性や要素を十分に読み取り、それらを活かした、又は調和した計画とする。	市街地景観 <input type="checkbox"/> 住宅地景観 <input type="checkbox"/> 商業地景観 <input type="checkbox"/> 沿道景観 シンボリック景観 <input type="checkbox"/> 阪急茨木市駅 <input type="checkbox"/> JR茨木駅 <input type="checkbox"/> 中央通り <input type="checkbox"/> 東西通り <input type="checkbox"/> エキスポロード		



- ・あてはまるものの□にレ印をいれてください
- ・周辺景観の特徴、状況を具体的に記入してください。
- ・周辺景観の特徴、状況を踏まえ、本計画・設計に当たって考慮したことを具体的に記入してください。
- ・景観要素については茨木市景観計画第4章茨木市の景観形成の目標(P18～)を参照してください。
- ・景観要素の「中央通り」又は「東西通り」に該当する場合は、茨木市東西軸(中央通り・東西通り)ストリートデザインガイドライン「第4章 将来像を実現するためのデザイン指針」を参照してください。

対象	事項	景観形成基準	チェック	配慮事項	
1 建築物	1)配置、規模、高さ	良好な周辺の景観と調和した配置、規模、高さとする。	<input type="checkbox"/>		
		駅周辺と主要道路(中央通り、東西通り、エキスポロードのにぎわい景観形成地区内)の沿道では、1階部分で道路境界より原則として1m以上の壁面後退を行い、オープンスペースを確保する。	<input type="checkbox"/>		
	2)形態、意匠	(1)建築物本体	良好な周辺の景観と調和し、窓の庇、窓枠のラインをそろえる等、全体としてバランスのとれた形態、意匠とする。		<input type="checkbox"/>
			中高層建築物等では、分節や外壁に変化を付けることで、圧迫感や単調さを軽減させる。		<input type="checkbox"/>
			商業施設の低層部は、通りに面して、十分な開口部を確保し、ショーウィンドーの設置や透過性の高いシャッターを設けるなどまちの賑わいに配慮する。		<input type="checkbox"/>
		(2)付帯施設	屋上に設置する施設は、通りから見えない位置に設置する。		<input type="checkbox"/>
			やむを得ず設置する場合は、周囲を囲うことで、目立たないようなデザインとする。		<input type="checkbox"/>
			外部に設ける建築設備は、通りから見えない位置に設置する。		<input type="checkbox"/>
	3)色彩		屋外階段、ベランダ等は、建築物全体と調和させる。		<input type="checkbox"/>
			明るく賑わいの感じられる色彩(東西通りの沿道では、落ち着いた感じられる色彩)とし、別に定める色彩に関する景観形成基準(図3)に適合させ、周辺の景観と調和させる。		<input type="checkbox"/>
			当該基準に適合しない色は各立面の1/20以下とする。		<input type="checkbox"/>
	4)素材		ただし、着色していない石材、木材、土壁、レンガ、金属材、ガラス材等で仕上げた場合(ソーラーパネルを含む。)は上記2項の限りでない。		<input type="checkbox"/>
			周辺の景観に配慮し、地域の特性に合った素材を使用する。		<input type="checkbox"/>
	5)照明		反射光のある素材を使用する場合は、使用する位置や量等に配慮する。		<input type="checkbox"/>
			外観に照明を施す場合は、その位置や量等が周辺の景観に与える影響を考慮して設置する。		<input type="checkbox"/>
	6)緑化、外構		商業施設の外部から視認できる照明は、電球色に近い温かみを感じられる色温度を基本とし、魅力ある夜間景観の演出に努める。		<input type="checkbox"/>
			行為地は樹木等により緑化するものとし、原則として道路側に緑を配置する。		<input type="checkbox"/>
			建築物は、壁面緑化等によりうるおいある景観の形成に努める。		<input type="checkbox"/>
	中央通りの沿道では、まちを華やかに彩る植栽の設置等に努める。	<input type="checkbox"/>			

※協議事項

協議事項がある場合は、検討結果及び具体的な手法について、協議結果・回答欄に記入してください。

※協議結果・回答

対象	事項	景観形成基準	チェック	配慮事項	
6) 緑化、外構		東西通りの沿道では、緑豊かな景観を形成する植栽の設置等に努める。	<input type="checkbox"/>		
		建築物の前面に配置する駐車場等の周囲は、樹木等により緑化する。	<input type="checkbox"/>		
		駐車場の出入口は、原則として中央通りと東西通りに面して設置しない等、まちなみの連続性に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
		建築物等の前面にあるオープンスペースは、歩道との間に段差を設けないように努める。	<input type="checkbox"/>		
2 工作物	1) 配置、規模、高さ	良好な周辺の景観と調和した配置、規模、高さとする。	<input type="checkbox"/>	ベースカラー () アクセントカラー (m ² ・ /)	
		駅周辺と主要道路 (中央通り、東西通り、エキスポロードのにぎわい景観形成地区内)の沿道では、道路の境界線からできる限り後退した配置とする。	<input type="checkbox"/>		
	2) 形態、意匠	良好な周辺の景観と調和し、全体としてバランスのとれた形態、意匠とする。	<input type="checkbox"/>		
		屋上に設置する施設は、通りから見えない位置に設置する。 やむを得ず設置する場合は、周囲を囲うことで、目立たないようなデザインとする。	<input type="checkbox"/>		
	3) 色彩	明るく賑わいの感じられる色彩 (東西通りの沿道では、落ち着いた感じられる色彩) とし、別に定める色彩に関する景観形成基準 (図3) に適合させ、周辺の景観と調和させる。	<input type="checkbox"/>		
		当該基準に適合しない色は各立面の1/20以下とする。	<input type="checkbox"/>		
		ただし、着色していない石材、木材、土壁、レンガ、金属材、ガラス材等で仕上げた場合 (ソーラーパネルを含む。) は上記2項の限りでない。	<input type="checkbox"/>		
	4) 素材	周辺の景観に配慮し、地域の特性に合った素材を使用する。	<input type="checkbox"/>		
		反射光のある素材を使用する場合は、使用する位置や量等に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	5) 照明	外観に照明を施す場合は、その位置や量等が周辺の景観に与える影響を考慮して設置する。	<input type="checkbox"/>		
	6) 緑化、外構		行為地は樹木、壁面緑化等により緑化するものとし、原則として道路側に緑を配置する。		<input type="checkbox"/>
			駐車場、空地等の周囲は、樹木等により緑化する。		
塀、柵等を設ける場合は、良好な周辺の景観と調和した形態、意匠とする。また、隣接する敷地との連続性に配慮する。			<input type="checkbox"/>		
3 開発行為	方法	できる限り現況の地形を活かし、地形の改変を必要最小限にするなど、長大なり面又は擁壁が生じないように配慮する。	<input type="checkbox"/>		
		のり面は、できる限り緩やかな勾配とし、緑化を行う。	<input type="checkbox"/>		
		擁壁は、良好な周辺の景観と調和した形態、素材とする。	<input type="checkbox"/>		
		塀、柵等を設ける場合は、良好な周辺の景観と調和した形態、意匠とする。また、色彩は、別に定める色彩に関する景観形成基準 (図3) に適合させ、周辺の景観と調和させる。	<input type="checkbox"/>		
4 土地の形質の変更	方法	塀、柵等を設ける場合は、良好な周辺の景観と調和した形態、意匠とする。また、色彩は、別に定める色彩に関する景観形成基準 (図3) に適合させ、周辺の景観と調和させる。	<input type="checkbox"/>		
		できる限り現況の地形を活かし、地形の改変を必要最小限にするなど、長大なり面又は擁壁が生じないようにする。	<input type="checkbox"/>		
		のり面は、できる限り緩やかな勾配とし、緑化を行う。	<input type="checkbox"/>		
		擁壁は、良好な周辺の景観と調和した形態、素材とする。	<input type="checkbox"/>		
		原則として、行為地周囲の緑化を行う。	<input type="checkbox"/>		
5 物件の堆積	方法	道路等の公共空間から見えにくい位置及び規模とする。	<input type="checkbox"/>		
		高さをできる限り抑えるとともに、整然とした物件の堆積を行う。	<input type="checkbox"/>		
		行為地周囲の緑化を行うなど、原則として周囲の道路等からの遮へいを行う。	<input type="checkbox"/>		
		塀、柵等を設ける場合は、良好な周辺の景観と調和した形態、意匠とする。また、色彩は、別に定める色彩に関する景観形成基準 (図3) に適合させ、周辺の景観と調和させる。	<input type="checkbox"/>		

※協議事項

↓

協議事項がある場合は、検討結果及び具体的な手法について、協議結果・回答欄に記入してください。

※協議結果・回答

(記入方法)

- 各景観形成基準の項目に対して、配慮できているかどうかを確認し、チェック欄の□にレ点を入れてください。また配慮事項について各事項に関して景観上配慮した、または工夫したことについて具体的に記入してください。
- 色彩についてはマンセル値で記入してください。アクセントカラーについては使用面積と立面に対する割合を記入してください。

※協議事項、協議結果・回答欄は提出後使用しますので記入しないでください。